

東大和市立第一中学校学校だより



かがやき

水と緑の花咲く学び舎 第一中学校

令和6年5月15日 2号
校長 立川 裕
校電 042-561-2326

失敗から学ぶ

副校長 西当 正敏

4月始業式で立川校長先生から「たくさんの方に失敗を恐れず挑戦しよう。」というお話がありました。そこで「失敗」をキーワードに3人の著名人の言葉を紹介します。

「失敗学」という学問があります。提唱者である東京大学名誉教授 畑村洋太郎先生は人間が活動すると失敗は必ず起こる、このことをポジティブにとらえ、原因を究明することで、次の行動に活かすことを主眼にしています。未知なること、初めてのことに取り組むと、たいてい失敗するものです。そこで仮説・実行・検証を繰り返す。その中で、足りないもの、過剰なもの、思い違いをしていたものなど、いろいろなことが見えてくるはずで。またこの時、「枠の外にあふれるものが必ずある」ことに気づくことも重要です。失敗を恐れるのは新たな価値を創造する種、人を成長させる種を捨てる行為だからです。反対に、自分の頭の中で、ああでもない、こうでもないと試行錯誤しながら、独自の思考回路をつくり出すこと、これがよい仮説を立てるための下地となります。

「失敗したところでやめてしまうから失敗になる。成功するところまで続ければ、それは成功になる。」

これは松下電器産業（現パナソニック）の創業者である松下幸之助さんの言葉です。実業家だけではなく発明家、著述家、教育者、政治家としても活躍し、多くの人々に影響を与えました。松下幸之助さんは、自分の仕事に対して常に挑戦し続ける姿勢を持っていました。失敗は成功への過程であると考え、諦めずに努力しました。例えば、彼が開発した電球ソケットは、最初は売れませんでした。しかし、彼は改良を重ねて品質を高め、扇風機の部品として大量受注することに成功しました。失敗を乗り越えて努力し続けることで目標に到達できるという考え方で、結果を出し続けました。もし失敗を理由にして挑戦をやめてしまうと、それが最後の結果になってしまいます。この名言は、自分の夢や目標に向かって粘り強く取り組むことの大切さを教えてくれます。

最後にアメリカのゼネラル・エレクトリック（GE）の伝説的CEO、ジャック・ウェルチ氏は大失敗をしでかした社員を表彰したことがある。その理由は、いわく「この失敗によって、我々はまた一つ賢くなった。」

（参考資料）

DiamondQuarterly 失敗学 2.0 失敗こそ価値創造の源泉 <https://diamond.jp/category/s-dquarterly>
名言の旅 e.j.quotes <https://ejquotes.com/>

特別支援教室(ステップ教室)

特別支援教室についてです。どういうところでどんな学習をしているのかという質問がありましたので、紹介します。

特別支援教室

ステップ教室

～中学校生活をより良くするサポートをします～

ステップ教室とは

東大和市の中学校(通常学級)に在籍しながら、週に1～2回、校内のステップ教室で個別の課題に沿った指導を受けることができる教育の制度です。職員については、拠点校である東大和市立第二中学校を中心にそこから巡回指導教員が各学校を周り指導しています。

指導内容として、相談では教員と共に、生活の振り返りを行ったり、自分にあつた進路等について考える時間です。生徒の特性に応じた学習の進め方や、学習の基本的な取り組み方が定着するよう支援します。

小集団活動では、4～6人程度の集団でソーシャルスキルトレーニングなどを中心に、行動・生活面や情緒面での課題に対する支援を行っています。

ステップ教室では、学習を指導するのではなく、学習の方法や学習計画の立て方、コミュニケーションスキルや情緒の安定などの支援を行う場所です。

対象となる生徒

- ・得意、不得意の差が大きく、本来の力が発揮しづらい
- ・読む、聞く、話す、書く、計算する等のうち、一部に苦手がある
- ・気持ちの切り替えが難しい
- ・コミュニケーションが上手にとれないときがある
- ・集中して授業に参加することが苦手



など、個別の相談や支援をすることで、学校生活がより充実する生徒

ステップ教室で行う支援

行動・生活面への支援

自己の特性を知り、行動や感情を調整する力や社会性を伸ばします。

学習面への支援

つまづきを明らかにし、一人ひとりの課題にあつた学習方法を共に考えます。

情緒面への支援

できる、わかるを積み重ね、自信をもって学校生活を過ごせるように、意欲を引き出し育てます。

セーフティ教室

4月26日(金)に行いました。

今年度のセーフティ教室のテーマは「SNS」。東大和警察からスクールサポーターを講師としてお招きし、サイバー犯罪に生徒が被害者・加害者にならないためにということでお話しをいただきました。



土曜公開授業・地域防災訓練

4月27日(土)に行いました。

今年度から4月の最終土曜日に年度初めの公開授業を設定しています。当日はたくさんの保護者の方に参観していただきました。そして2年生は地域防災訓練を行いました。この地域防災訓練は学校運営協議会とともに開催です。避難所設営訓練、伝言ダイヤル訓練、AED体験や防災備蓄倉庫の見学やマンホールトイレ見学なども行いました。地域自治会の方も30名近くの方が参加してくれました。会議室では東大和市役所防災安全課の職員の方から、東京都や東大和市、一中学区の防災について学びました。



体育館では簡易テント設営しました



学校運営協議会の方も伝言ダイヤル訓練です



AED訓練もしました



防災安全課職員による防災講話

一中グループ合同引き渡し訓練

5月2日(木)に行いました。

前年度に引き続き一中グループ(一小・四小・一中)合同引き渡し訓練を5月2日に実施しました。当日は実際の引き渡しを想定し、14時に中学生から引き渡し開始し、弟妹がいる場合はそのあと小学校へという流れで実施しました。GWの谷間の1日ではありましたが、多くの保護者の方に来校いただきありがとうございます。引き渡しができなかった生徒は地域ごとに別れての集団下校を行いました。大災害が起きてしまったときは、基本は引き取りとなります。ご承知おきください。



5・6月の予定

5月			6月			6・7月の主な予定
日	曜	学校行事	日	曜	学校行事	
16	木	内科検診 2年 PM	1	土		17日(月) 全校朝礼 21日(金) 高校の先生の話聞く会 26日(水) 職員会議 7月 1日(月) 期末考査 1日目 2日(火) 期末考査 2日目 3日(水) 期末考査 3日目 5日(金) 専門委員会 8日(月) 教育委員会訪問 10日(水)～18日(水) 三者面談 10日(水)～12日(金) I組宿泊学習 18日(木) 大掃除 19日(金) 終業式 
17	金	1, 2校時 全体練習	2	日		
18	土		3	月	中間考査 給食なし	
19	日		4	火	中間考査 給食なし	
20	月		5	水	まとめのテスト(3年) 学年会	
21	火	心臓検診 AM 尿検査最終 5、6校時 予行準備	6	木	避難訓練	
22	水	運動会予行 職員会議	7	金		
23	木	予行予備日	8	土		
24	金	前日準備	9	日		
25	土	運動会	10	月	生徒会朝礼	
26	日		11	火		
27	月	全校朝礼	12	水	一中学区研修会	
28	火	運動会予備日	13	木		
29	水	振替休業日	14	金	進路説明会	
30	木		15	土		
31	金	教育実習終				
SC 國本先生 毎週木曜日						

お知らせ

・学校からのお知らせ、災害時の引き渡し、台風や降雪時の対応、不審者連絡など「マチコミメール」を活用して送付しています。未登録の方は登録をお願いします。また、機種変更等でメールが受信できない場合など、再登録の必要がある場合もあります。再登録についてなどお問い合わせは副校長または担任までお願いします。

・一小との間にある青梅街道にかかる歩道橋の耐震補強工事が5月中旬より10月末をめどに始まります。工事中は緊急時を除き、西門の使用ができなくなります。ご理解とご協力をお願いします。大きな音の作業については7月末から8月の夏休み期間を予定しています。

